

# 2021年12月期 第3四半期 決算説明資料

---

2021年11月5日  
サイバーコム株式会社  
東証一部 <3852>

1. 決算概要	.....	P 3
2. 営業利益増減分析	.....	P 4
3. セグメント別業績	.....	P 5
4. 貸借対照表	.....	P 6
5. 参考情報		
(1) セグメント別売上高	.....	P 7
(2) 顧客別売上構成比	.....	P 8
(3) 業績予想	.....	P 9
(4) 配当予想	.....	P 10
(5) 会社概要	.....	P 11

# 1. 決算概要

## 2021年12月期 第3四半期実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前年同期 (20/01-20/09)	当期 第3四半期 (21/01-21/09)	増減／増減比	
売上高	10,153	11,421	1,267	+ 12.5%
営業利益	677	851	174	+ 25.8%
営業利益率	6.7%	7.5%	—	—
経常利益	690	868	178	+ 25.9%
経常利益率	6.8%	7.6%	—	—
四半期純利益	445	597	152	+ 34.2%
四半期純利益率	4.4%	5.2%	—	—
1株当たり 四半期純利益	55.49円	74.45円	18.96円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	8.5%	10.5%	—	—

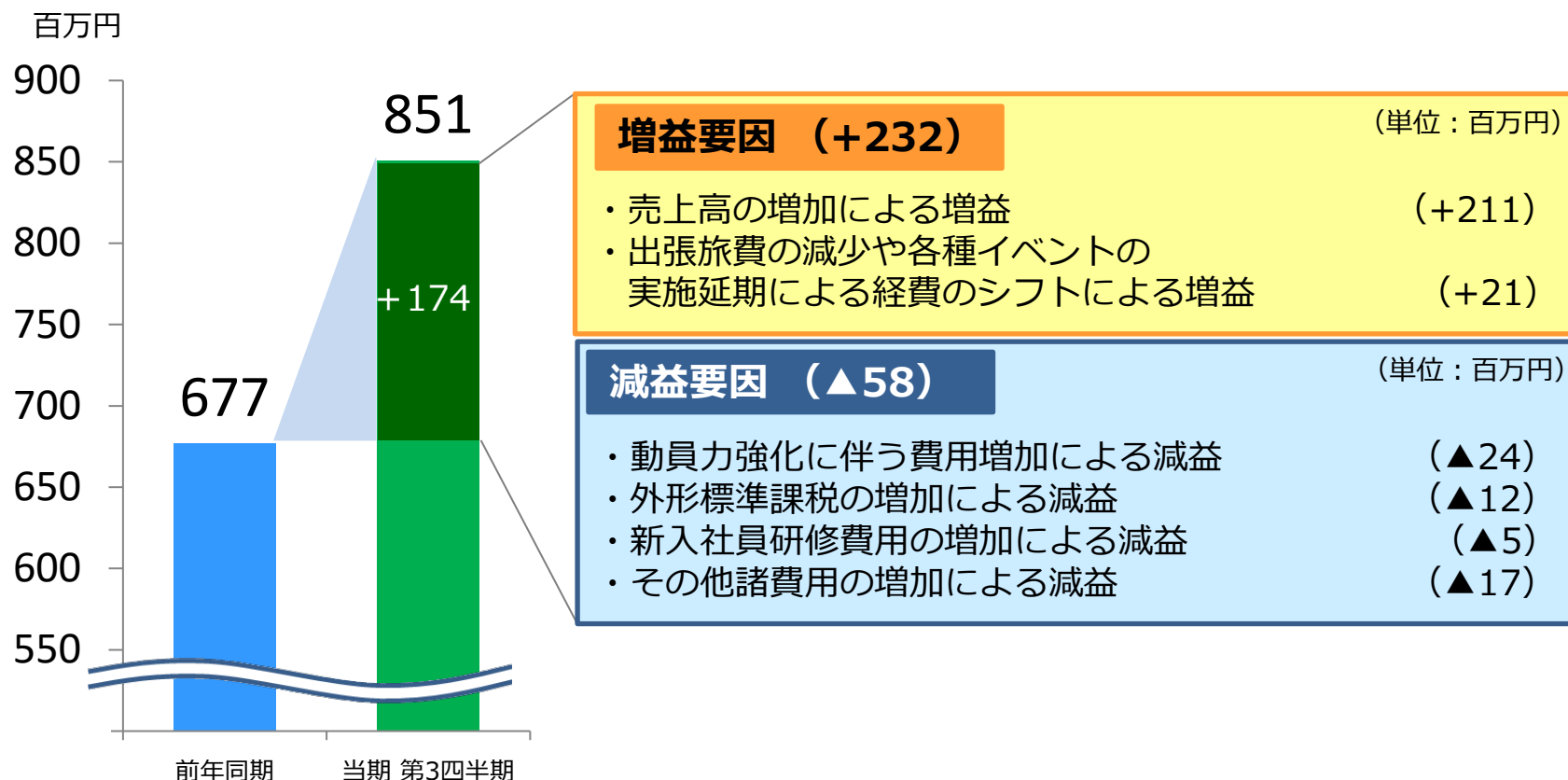
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で通信ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことに加え、サービス事業も好調に推移したことから 114億21百万円（前年同期比 12.5%増）と **増収**になりました。

◇営業利益は、増収効果及び経費の減少により 8億51百万円（前年同期比 25.8%増）と **増益**になりました。

◇四半期純利益は、5億97百万円（前年同期比 34.2%増）と **増益**になりました。

## 2. 営業利益増減分析

2021年12月期 第3四半期実績



### ◇営業利益の増加要因

増収効果に加え、感染症再拡大に伴う出張旅費の減少や各種イベントの実施延期による経費のシフト等により前年同期に比べ増益となりました。

### 3. セグメント別業績

#### 2021年12月期 第3四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	8,987	78.7%	1,034	+13.0%	1,389	15.5%	192	+16.0%
通信ソフトウェア開発	2,389	20.9%	808	+51.1%	326	13.7%	84	+34.8%
制御ソフトウェア開発	1,931	16.9%	▲178	▲8.4%	307	15.9%	▲6	▲2.0%
業務ソフトウェア開発	4,666	40.9%	404	+9.5%	755	16.2%	114	+17.8%
サービス事業	2,413	21.1%	252	+11.7%	330	13.7%	2	+0.8%
ファシリティ事業	20	0.2%	▲19	▲49.6%	5	28.2%	▲7	▲56.1%
本社調整 (※)	-	-	-	-	▲874	-	-	-
合計	11,421	100.0%	1,267	+12.5%	851	7.5%	174	+25.8%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

◇通信ソフトウェア開発は、第5世代移動通信（5G）のコアネットワーク装置開発案件等の案件が好調に推移し、売上高は前年同期比51.1%増、セグメント利益は前年同期比34.8%増と増収・増益になりました。

◇制御ソフトウェア開発は、車載システム開発案件等が減少し、売上高は前年同期比8.4%減、セグメント利益は前年同期比2.0%減と減収・減益になりました。

◇業務ソフトウェア開発は、製造業向けシステム、流通系システム、公共系システム等の開発案件が好調に推移し、売上高は前年同期比9.5%増、セグメント利益は前年同期比17.8%増と増収・増益になりました。

◇サービス事業は、SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、セキュリティ対策案件、ネットワーク構築案件が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件が好調に推移しました。  
また、自社プロダクトにおいてもコールセンター構築や年間保守の増加により好調に推移しました。

# 4. 貸借対照表

## 貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2020/12	第3四半期末 2021/09	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>6,162</b>	<b>6,676</b>	<b>513</b>
現金及び預金	919	895	▲24
受取手形及び売掛金	3,117	3,250	133
商品	3	3	▲0
仕掛品	39	114	74
短期貸付金	1,994	2,344	349
その他	87	67	▲19
<b>固定資産</b>	<b>3,546</b>	<b>3,424</b>	<b>▲121</b>
有形固定資産	2,540	2,493	▲47
無形固定資産	39	22	▲17
その他	966	908	▲57
<b>資産合計</b>	<b>9,708</b>	<b>10,100</b>	<b>391</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,096</b>	<b>1,874</b>	<b>▲222</b>
買掛金	477	595	117
未払費用	275	298	23
未払法人税等	151	118	▲33
賞与引当金	632	375	▲257
役員賞与引当金	24	19	▲4
その他	535	467	▲68
<b>固定負債</b>	<b>2,127</b>	<b>2,288</b>	<b>161</b>
退職給付引当金	2,094	2,251	157
役員退職慰労引当金	32	36	4
<b>負債合計</b>	<b>4,224</b>	<b>4,163</b>	<b>▲61</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,484</b>	<b>5,937</b>	<b>452</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,708</b>	<b>10,100</b>	<b>391</b>

### 主な増減要因

★CMS貸付金の増加

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

### ◇ご参考

	2020年12月末	2021年9月末
1株当たり純資産	683.77円	740.22円
自己資本比率	56.5%	58.8%

# 5. 参考情報 (1) セグメント別売上高

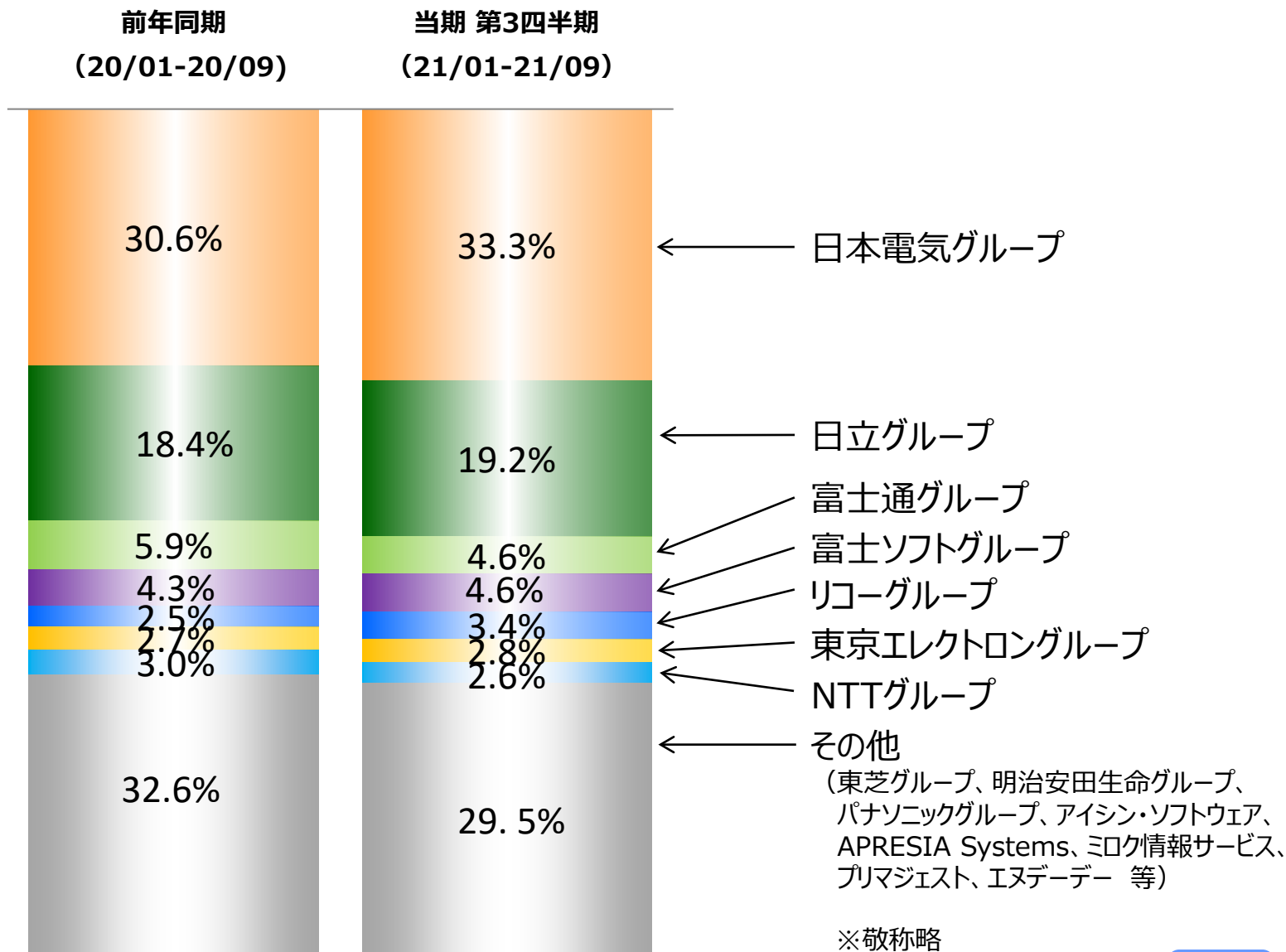
## セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2020年12月期			2021年12月期			
	第3四半期 (2020年1月～9月)			第3四半期 (2021年1月～9月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	7,952	78.3%	▲6.1%	8,987	78.7%	1,034	+13.0%
通信ソフトウェア開発	1,580	15.6%	+17.2%	2,389	20.9%	808	+51.1%
通信基盤	1,187	11.7%	+26.5%	2,055	18.0%	867	+73.1%
その他通信	393	3.9%	▲4.1%	333	2.9%	▲59	▲15.0%
制御ソフトウェア開発	2,109	20.8%	▲16.3%	1,931	16.9%	▲178	▲8.4%
車載	1,238	12.2%	▲15.0%	955	8.4%	▲282	▲22.8%
その他制御	871	8.6%	▲18.1%	976	8.6%	104	+12.0%
業務ソフトウェア開発	4,262	42.0%	▲7.4%	4,666	40.9%	404	+9.5%
金融	1,237	12.2%	▲28.2%	1,235	10.8%	▲1	▲0.1%
情報通信	680	6.7%	+25.3%	746	6.5%	65	+9.7%
製造	526	5.2%	+97.0%	694	6.1%	167	+31.8%
公共	622	6.1%	▲1.3%	669	5.9%	47	+7.6%
流通	317	3.1%	▲25.0%	451	4.0%	134	+42.4%
医療	441	4.3%	+7.3%	387	3.4%	▲53	▲12.2%
その他業務	436	4.3%	▲27.6%	480	4.2%	44	+10.2%
サービス事業	2,161	21.3%	+11.0%	2,413	21.1%	252	+11.7%
ファシリティ事業	39	0.4%	▲2.8%	20	0.2%	▲19	▲49.6%
合計	10,153	100.0%	▲3.0%	11,421	100.0%	1,267	+12.5%

# 5. 参考情報（2）顧客別売上構成比

## 顧客別売上構成比（前年同期比較）





# 5. 参考情報（3）業績予想

## 2021年12月期 業績予想

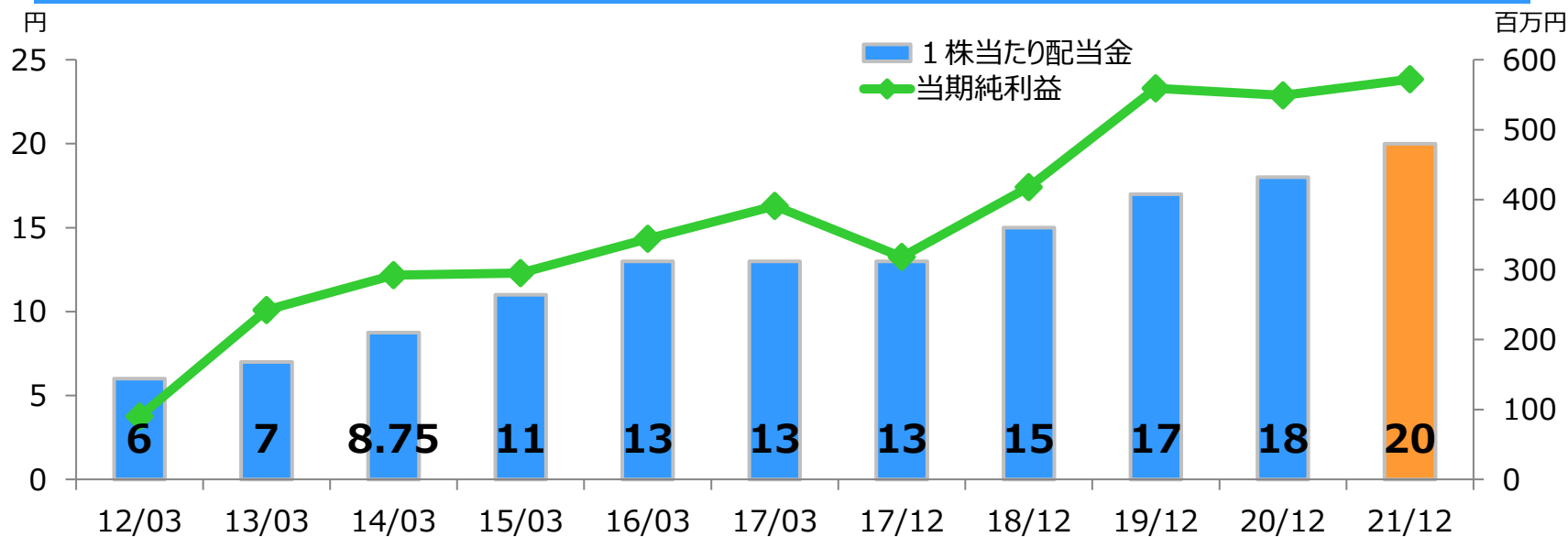
(単位：百万円)

	前期実績 (20/01-20/12)	業績予想 (21/01-21/12)	増減／増減比	
<b>売上高</b>	<b>13,672</b>	<b>14,400</b>	<b>+727</b>	<b>+5.3%</b>
<b>営業利益</b>	<b>827</b>	<b>850</b>	<b>+22</b>	<b>+2.7%</b>
営業利益率	6.1%	5.9%	—	—
<b>経常利益</b>	<b>842</b>	<b>850</b>	<b>+7</b>	<b>+0.8%</b>
経常利益率	6.2%	5.9%	—	—
<b>当期純利益</b>	<b>549</b>	<b>572</b>	<b>+22</b>	<b>+4.2%</b>
当期純利益率	4.0%	4.0%	—	—
<b>1株当たり 当期純利益</b>	<b>68.45円</b>	<b>71.31円</b>	<b>2.86円</b>	—

通期の業績予想につきましては、2021年2月8日発表のとおりで変更ありません。

# 5. 参考情報（4） 配当予想

**配当金（年間）：1株につき20円**  
**（配当金総額：160百万円 配当性向28.0%）**



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための事業拡大、人材育成やオフィス環境整備などの戦略的投資に加え、情報セキュリティ強化への積極的投資、さらには、新製品及び新サービス創出のための研究開発投資やM & A等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、当期の利益配当につきましては1株当たり20円を予定しております。

# 5. 参考情報（5）会社概要

## 会社プロフィール

名称： サイバーコム株式会社  
**Cyber Com CO.,Ltd.**

所在地： 本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル  
横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34

設立： 1978年12月4日

代表者： 代表取締役社長 渡辺 剛喜

資本金： 3億99百万円

社員数： 1,202名（2021年9月末現在）

事業内容： ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

## 2021年12月期の主なニュース

日付	内容
2021/10/20	DMMオンライン展示会「業務改善DX EXPO ONLINE」に出展（～10/22）
2021/10/08	コーポレートサイトのトップページをリニューアル、お客様向けに「お困りごとを解決」と「各エリア」のページを開設
2021/09/17	株主名簿管理人を三菱UFJ信託銀行株式会社へ変更
2021/07/12	ニューノーマル時代のテレワーク向けオンライン展示会「第1回テレワーク・在宅勤務支援EXPO in オンライン」に出展（～07/16）
2021/07/01	『楽々セキュアコネクト』キャンペーン実施を公表（キャンペーン実施期間：2021/07/12～09/30）
2021/02/24	2020年12月期 決算説明会の動画を配信開始

# サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



## 当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。